

令和 2 年 1 1 月 5 日
全 国 知 事 会
スマート農業の推進WT

農林商工常任委員会 スマート農業の推進WTの取組状況について

1 これまでの取組

(1) 全国アンケートの実施 (1/30~2/19)

各都道府県の取組事例や推進上の課題について情報を収集

(2) 全国アンケート結果の分析・取組事例等の情報共有

各自治体におけるスマート農業の更なる推進に向け、47都道府県の取組状況及び事例をまとめ、情報共有

- ・スマート農業推進に係るアンケート結果 [アンケートの集計・分析結果]
- ・スマート農業取組事例等 [実証内容、課題、今後の展開等]

※アンケート結果及び取組事例ともに、令和2年3月に全国知事会を通じて各都道府県へ送付

(3) 「令和3年度国の施策並びに予算に関する提案・要望（新たな時代の産業の振興と基盤の維持に向けて）」において「スマート農業の推進」を提案

「スマート農業の推進」

農業従事者の高齢化の進行、担い手の減少等により労働力不足が顕在化する中、一層の省力化や生産性、収益力の向上を実現するスマート農業の技術開発及び現場実装の加速化が必要である。

このため、導入コストに見合う適応可能な経営規模等の条件の明確化をしつつ、幅広い品目・地域に対応する技術開発・実証を更に進めるために、スマート農業実証プロジェクトの支援を継続するとともに、現場でスマート農業の普及を担う人材の育成や機械等導入への支援を強力に進めること。

また、活用が進むドローンで使用可能な登録農薬の拡大推進を始め、スマート農業に適したほ場整備や、通信基地設置への支援などの環境整備を進めるとともに、遠隔操作ロボット農機の利用を早期に実現させること。

※全国調整後・6月18日農林水産省への要望時の内容

2 令和3年度農林水産予算概算要求におけるスマート農業関連予算の状況

○ スマート農業総合推進対策事業（55億円（15億円））

※（令和3年度要求額（令和2年度要求額））以下同じ。

○ 農業支援サービス事業育成対策（10億円（－））

○ ICTを活用した畜産経営体の生産性の向上（215億円の内数（194億円の内数））

○ 農村整備事業＜公共＞（73億円（－））

（スマート農業の実装に対応した農業農村の情報通信環境の整備 他）

[その他関連事業等]

- ・ GAP 認証のオンライン化
- ・ 次世代技術を取り入れた新たな食品産業創造事業
- ・ 捕獲活動の抜本的強化・地域ぐるみの被害防止活動
（ICT を活用したスマート捕獲の取組への支援）

3 今後について

令和元年度以降順次、分野や地域を拡大して全国で取り組まれているスマート農業実証プロジェクトの結果や、本委員会による提言等も踏まえ概算要求が行われた令和3年度以降の新たな施策による効果等を注視し、スマート農業の現場実装に係る新たな課題等が顕在化した場合は、必要となる施策等を改めて洗い出した上で、国に提言する。